

## 行仙宿の巡回整備（追加作業）

◇実施日 12月28日（日） 晴  
◇参加者 梶野照雄、村吉光夫、湯川一郎 3名

行仙宿の迎春準備を18日に行ったが、一人だったので残した作業があった。20日に湯川、鳥羽の二人が雨水槽の水抜きや掃除などを行ってくれたが、水場の清掃やマキ材運びが残っていた。特に水場の清掃は水流が無かったため行わなかったのだが、21日に雨が降ったので、清掃可能と判断して年末のこの日に行った。



本日の参加者

補給路の補修

気温は0℃

午前8時半にスポーツ公園駐車場を出て登山口に向かう。R425に積雪は殆どなかったが、四ノ川林道に入ると若干の積雪が見られた。水道水を入れたポリタンク二個を積んで登りだす。旧終点で停車し、補給路の補修箇所を見に行く。木の根が露出した細尾根で踏

み跡が上下二段になっている個所だった。上段を道にすべく土留が作られていた。砂利を入れて木の根をカバーするようだ。村吉さんは補修箇所の片付けと林道奥で砂利集めをするため、ここから下山した。



水場の清掃

マキ材を運ぶ

水を保管

梶野、湯川の二名で小屋に向かった。小屋に着いて担いできたポリタンクを降ろし、水場へ降りる準備をする。その間に湯川君にお願いしてストープに火種を作ってもらった。ジョレンと熊手、ブロワーを持って水場へ向かう。最初の200mほどの落ち葉をブロワーで掃除したが、何故かエンジンが止まってしまい、ブロワーを置いて水場へ降りた。水場の流れは細いながらも回復していて、水溜もオーバーフローしていた。底に溜まった石をジョレンで、枯葉は熊手で掃除し底浚えもして水場の清掃は終了。溜まっていた枯葉が多かったのか、最後まで腐臭がしていた。小屋に戻って昼食を摂り、午後は小屋南からマキ材を運んだ。先に板引きした倒木の残りを3

0 cmほどに切っておいたものが30個くらいあるので、一輪車で往復してテール前まで運んだ。下山の前にポリタンクを発泡スチロール容器に入れ、蓋に水が入っている旨を書いて戸締り確認後下山した。



下山



砂利を降ろす



ゲートを通過

登山口に着き、モノレールにシートを掛けていると、村吉さんが戻ってきた。後部座席に大量の土嚢袋が積まれていた。砂利を降ろすのを手伝い、3台同時に下山した。  
(記：梶野)

## 行動タイム

補給路登山口 09:07→9:15 旧終点→09:45 行仙宿→10:25 水場  
→11:20 行仙宿 13:08→13:31 補給路登山口